

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
鍼灸応用実技2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・夜間部	3年	1・2期	斎藤 俊輝			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	実習			実技	2	20	
科目概要							
2年生で学習した日本伝統鍼灸による本治法と標治法をもって施術を完結できるようになる。特に基本的な刺鍼技術の確認と触診能力の向上に重点を置いて学習していく。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	日本伝統鍼灸による施術を完結できるようになるため、日本伝統鍼灸の特徴である触診、比較脈診、腹診と問診をもって異常経絡を判断し、刺鍼部位を決定できるようになる。刺鍼に際して患者の負担を考慮し、適切な鍼数と刺激量で施術できるようになる。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	①69難の治療原則で用いる経穴名を言うことができるようになる。 ②69難の治療原則で用いる経穴を取穴できるようになる。 ③背部愈穴を手早く取穴できるようになる。 ④適切な刺入深度を手指の感覚をもって判断できるようになる。						
履修に必要な予備知識や技能							
基本的な刺鍼技術(押手・刺手・送り込み刺法)を再度練習しておくこと。							
教科書・参考書							
参考書:経絡経穴概論(東洋療法学校協会編)							
受講上の注意							
手指のケア(爪切り、乾燥対策等)を怠らないこと。丁寧な施術を行うこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				100			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	比較脈診と69難配穴				プリント		
第2回	比較脈診による本治法トレーニング①				プリント・白衣・患者着		

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第3回	比較脈診による本治法トレーニング②		プリント・白衣・患者着
第4回	比較脈診による本治法トレーニング③		プリント・白衣・患者着
第5回	腹診		プリント・白衣・患者着
第6回	脈診・腹診からの本治法トレーニング①		プリント・白衣・患者着
第7回	脈診・腹診からの本治法トレーニング②		プリント・白衣・患者着
第8回	脈診・腹診からの本治法トレーニング③		プリント・白衣・患者着
第9回	頸部への施術法		プリント・白衣・患者着
第10回	本治法と頸部への施術		プリント・白衣・患者着
第11回	肩部・上背部への施術法		プリント・白衣・患者着
第12回	本治法と肩部・上背部への施術		プリント・白衣・患者着
第13回	腰部への施術法		プリント・白衣・患者着
第14回	本治法と腰部への施術		プリント・白衣・患者着
第15回	日本伝統鍼灸による本治法と標治法①(問診から施術まで)		プリント・白衣・患者着
第16回	日本伝統鍼灸による本治法と標治法②(問診から施術まで)		プリント・白衣・患者着
第17回	日本伝統鍼灸による本治法と標治法③(問診から施術まで)		プリント・白衣・患者着
第18回	日本伝統鍼灸による本治法と標治法④(問診から施術まで)		プリント・白衣・患者着
第19回	日本伝統鍼灸による本治法と標治法⑤(問診から施術まで)		プリント・白衣・患者着
第20回	定期試験		白衣・患者着

実務経験と本講義との関連について

本校付属敬心鍼灸院にて7年間勤務。その後東京都内にて開業。往診を中心に9年間、主に高齢者や整形外科疾患の施術を行う。

令和4年度 授業計画書(シラバス)

メールアドレス

t.saito-t@nihonisen.ac.jp